

2011年4月19日

内閣総理大臣 菅直人 様

グリーンピース・ジャパン
事務局長 佐藤 潤一

「虹の戦士号」による 海洋放射能汚染調査のお知らせと協力要請

国際環境 NGO グリーンピースは、福島第一原子力発電所に起因する放射能汚染について、市民の安全を最優先とし、必要な情報の収集と適切な措置の提案を目的として活動しています。

私たちは3月26日より、2度にわたり福島県に放射線調査チームを派遣し、周辺の放射能汚染の実態をモニタリング調査いたしました。私たちの調査やすでに発表されている政府や大学の調査データは、広範囲に及ぶ放射性セシウムによる汚染の可能性を示唆しています。

福島第一原発からは、大量の放射性物質が、大気だけでなく海洋にも流出しています。放射性物質のうち海水に溶け込んだものは海流で広く拡散し、微粒子の形で海中にとどまる物質は海底に沈み、長期間汚染が続く可能性があります。実際に三陸沖で、魚から国の暫定基準値を上回る放射性セシウムが検出されています。

グリーンピースは海洋調査船「虹の戦士号(オランダ船籍)」を福島沖に派遣し、独立した第三者の立場から海中における放射性物質の拡散状況や、底質の調査を行いたいと考えます。また、政府が希望する場合には政府の調査官などにも乗船していただき、情報を共有することも可能です。

よって、グリーンピースによる以下の活動について、その実施をお知らせするとともに政府のご協力を要請いたします。(調査概要は別紙のとおり)

1. 4月27日から5月15日までの間、「虹の戦士号」を用いたグリーンピースによる福島第一原発周辺海域(領海内、排他的経済水域を含む)での海洋調査の実施
2. 上記1調査に必要な船舶入港関連諸手続き
3. 4月27日から5月31日までの間、日本船を用いたグリーンピースによる福島第一原発周辺海域(領海内、排他的経済水域を含む)での海洋調査の実施

なお、政府において上記の諸活動につき事前の届出または承認が国内法令上必要とお考えの場合は、本要請書をもってその届出または申請とさせていただきますので、その点に関しては遅くとも1週間後の4月26日(火)までにご回答いただけますようお願いいたします。また、「虹の戦士号」の船籍国であるオランダ政府にも同様の要請を送付しております。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上

グリーンピース「虹の戦士号」による海洋調査概要

背景

福島第一原発からは、大量の放射性物質が、大気だけでなく海洋にも流出しています。放射性物質のうち海水に溶け込んだものは海流で広く拡散し、微粒子の形で海中にとどまる物質は海底に沈み、長期間汚染が続く可能性があります。中でもセシウム 137 は約 30 年にわたって海中にとどまるとして、フランス放射線防護原子力安全研究所 (IRSN) も「沈殿が疑われる日本の海岸地域では、長期にわたる調査が必要だ」と指摘しています。実際に三陸沖で、魚から国の暫定基準値を上回る放射性セシウムが検出されています。

目的

福島第一原子力発電所から放出されている放射性物質の海洋生態系への影響調査を目的とした海水、底質、海棲生物のサンプリングをし、放射能濃度の測定と核種分析を行います。また、第三者の立場で、水産業が放射能汚染により受ける影響を把握し、被害を受けた方々が正当な補償を受けられるように情報を公開します。

作業日程

- 第 1 部：平成 23 年 4 月 27 日～平成 23 年 5 月 15 日
 - ◇ 使用船舶：「虹の戦士号」(オランダ船籍)、他ゴムボート数隻(オランダ船籍)、チャーター船(日本船籍)
- 第 2 部：平成 23 年 4 月 27 日～平成 23 年 5 月 31 日
 - ◇ 使用船舶：チャーター船(日本船籍)

調査場所

- 福島第一原子力発電所周辺海域を中心に、宮城県石巻港から千葉県銚子港までの沿岸から沖 60km までの範囲。

作業方法

- **海水**：作業船より海水サンプラーを用いて調査対象海域内で海水をサンプリングします。また海岸からもサンプリングを行います。サンプルは、ベクレルモニターを用いて放射線量を計測し、ガンマ線スペクトルメーターを用いて核種分析を行います。また調査期間中、自律系潜水型ガンマ線スペクトロメーターを定点設置し、放射性核種の濃度をモニターします。
- **底質**：作業船よりコアサンプラーを用いて調査対象海域内で底質をサンプリングします。また海岸からもサンプリングを行います。サンプルは、ベクレルモニターを用いて放射線量を計測し、ガンマスペクトルメーターを用いて核種分析を行います。
- **海棲生物**：作業船より調査対象海域内で海棲生物をサンプリングします。また海岸からもサンプリングを行います。サンプルは、ベクレルモニターを用いて放射線量を計測し、ガンマスペクトルメーターを用いて核種分析を行います。
- その他

地方自治体との協力

- 私たちは 3 月 26 日より、2 度にわたり福島県に放射線調査チームを派遣し、福島県南相馬市の許可を得て、周辺の放射能汚染の実態をモニタリング調査いたしました。このたびの海洋調査も、南相馬市の理解を得て実施するものです。